

令和四年度 奈良金春会演能会

令和四年四月二十四日（日）午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨
（旧称 奈良県新公会堂）

能楽ホール
奈良市春日野町一〇一番地
電話（〇七四二）二七一一・二六三〇（代）



仕舞
田山天
村キリ
姥クセ
湯本哲明
田中直樹
吉川恵宥

能西王母

シテ（前後・西王母）高橋忍
ツレ（侍女）竹内昭之
ワキ（周の穆王）原陸
ワキツレ（大臣）佐々木奏太
アイ（官人）柴田鉄平
笛 赤井要佑
小鼓 荒木建作
大鼓 守屋由訓
太鼓 上田悟

（休憩 二十分）

狂言 雁 礫

仕舞
嵐山
熊野
シテ（犬名）茂山茂
アド（道通）井口竜也
アド（仲裁人）島田洋海
山井綱雄
金春康之

能通小町

シテ（深草少将の霊）金春穂高
ツレ（小野小町の霊）金春嘉織
ワキ（山居の僧）原大
笛 左鴻雅義
小鼓 荒木建作
大鼓 山本寿弥

付祝言

（終了予定 午後四時頃）

西王母 (せいおうぼ)

解説 中司 由起子

古代中国の周の穆王(ぼくおう)に仕える官人(アイ)が、王の治世をたたえ行幸を告げ、穆王(ワキ)が大臣(ワキツレ)を連れて豪華な宮殿に行幸する。そこへ女(前シテ)がやって来て、三千年に一度だけ花咲き、実を結ぶ仙境の桃の花を捧げる。女は西王母の分身であると明かして天に上る。王が管絃を奏して待つと、西王母(後シテ)と桃の実を持った侍女(ツレ)が現れる。西王母は王に桃の実を捧げ、舞を舞うと空へ消えて行く。仙女西王母が御代を祝して捧げ物をする、めでたく華やかな作品です。寺院の法会の後におこなわれた延年風流の演目の影響があるとされます。

通小町 (かよいこまち)

八瀬の山里で夏を過ごす僧(ワキ)のもとに女(ツレ)がやって来る。女は木の実を擧げて木の実尽くしの歌を謡うと、小野小町の霊であるとのめかし消え失せる。僧は市原野に小町の墓があることを思い出し、市原野で小町の供養をする。すると小町の霊(ツレ)が現れて成仏を願う。さらに生前、小町に恋をしていた深草の少将(シテ)の霊も現れる。少将は百夜通いの様を再現してみせ、小町への執心と苦悩を語り、僧の弔いにより小町と共に成仏する。

少将は恋心を伝えるために小町のもとへ百夜通おうとしますが、九十九夜で焦がれ死にしました。《通小町》は、金春権守が奈良多武峰で演じた作品を観阿弥が改作した能。さらに世阿弥の手も加わっているとされます。

次回予告 六月 十九日(日) 午後十二時半

能 二人 静
能 熊 坂
金 春 穂 高
金 春 憲 和

七月 十日(日) 連合謡曲仕舞会

十月 十六日(日) 午後十二時半
能 敦 盛
能 遊行 柳
中 田 能 光
金 春 康 之

十一月二十七日(日) 午後十二時半

能 金 札
能 紅葉 狩
高 橋 忍
金 春 飛 翔

五枚綴回数券

二〇、〇〇〇円

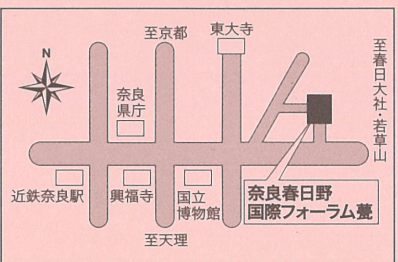
一般一回券

五、〇〇〇円

学生一回券

二、五〇〇円

◎鑑賞券(学生券を除く)は、奈良春日野国際フォーラム薨でも取り扱いいます。



奈良春日野国際フォーラム薨 能楽ホール

電話(〇七四二)二七一二六三〇(代)

・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良 金 春 会
後援 奈良 良 金 春 会

奈良市教育委員会
(公社)金 春 円 満 井 会

お問合せ 電話

(〇七四二)三三一九七二〇 金春

◎奈良県新公会堂は、平成二十七年から、奈良春日野国際フォーラム薨に改称されました。

◎特別に許可された人以外の写真撮影・録画・録音は、お断りします。

◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。

◎奈良春日野国際フォーラム薨の駐車場は、現在一般の方の車の受け入れをしておりません。

車でお越しの方は、他所に駐車場をお求めいただくことになります。

◎満席の場合など、当日会場では入場券を発売しない事があります。又、入場制限する事もあります。

◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

◎新型コロナウイルス感染症対策として

●ご来場されましたら必ずマスクを着用し、アルコール消毒の後、受付で記帳をお願いいたします。

(万が一の場合の追跡調査用としてのみ使用いたします。)

●入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。

●会場の定員は五〇〇名ですが、新型コロナウイルス感染症対策として座席数に制限をかける場合があります。